

## 平成三十年度秋さけ定置の推進

### 「現地対話集会」～漁業共済・積立ぶらすの加入・推進

七月二日～七月十八日まで全道八地区で開催された北海道定置漁業協会主催の「現地対話集会」に共済組合も出席させて頂き、秋さけ定置漁業の昨年度の「ぎょさい・積立ぶらすの加入状況」等を報告すると共に、本年度の引受の考え方について説明し、経営の後ろ盾として、ぎょさいと積立ぶらすの積極的な利用を呼びかけました。

平成二十九年度の加入率（免許べース）は漁獲共済で九十一％、積立ぶらすで八十四％と高い率を継続しており、共済金と積立ぶらすの支払額は四十六億四千万円になったことを報告しました。

また、「漁業施設共済（定置漁具）の昨年の引受・支払実績」について報告し、近年、自然災害が多発していることから、過去5年間の台風・

低気圧等による被害状況と共済金の支払状況を説明すると共に、昨年四月に導入された掛金割引制度である集団加入（漁協加入区内に異なる定置漁業権者が2以上あり、その全ての定置網が加入する場合に、純掛金が三十％割引となる制度）を改めて説明し、各漁協部会等での制度説明会の開催と、この割引制度を活用した加入について依頼しました。



十勝・釧路地区の現地対話集会

平成29年度 秋さけ定置 漁業権免許と漁業共済・積立ぶらす 地区別加入率

北海道漁業共済組合

地区	秋さけ関係免許統数		漁獲共済					積立ぶらす		漁業施設共済 (定置漁具)	
	第13次 免許統数	平成29年 操業統数	平成29年加入統数			未加入統数	加入率	平成29年 加入統数	加入率	平成29年 加入統数	加入率
			秋さけ定置	大型定置	計						
小樽	224	193	119	5	124	69	64%	95	49%	22	11%
桧山	35	27	27	-	27	0	100%	25	93%	2	7%
函館	198	176	132	34	166	10	94%	142	81%	1	1%
室蘭	40	40	40	-	40	0	100%	40	100%	9	23%
日高	46	46	46	-	46	0	100%	46	100%	7	15%
釧路	68	66	66	-	66	0	100%	66	100%	39	59%
根室	162	160	160	-	160	0	100%	160	100%	20	13%
北見	82	82	82	-	82	0	100%	82	100%	35	43%
稚内	51	50	48	-	48	2	96%	48	96%	1	2%
留萌	18	18	18	-	18	0	100%	15	83%	2	11%
合計	924	858	738	39	777	81	91%	719	84%	138	16%
28年度 実績		886	743	41	784	102	88%	728	82%	140	16%
増減		△28	△5	△2	△7	△21	3%	△9	2%	△2	0%

北海道推進協議会

# 億円、積立ふらす 196 億円

## 積立ふらす198億円、定置漁具104億円を目標に

「ぎよさいと積立ふらす」の普遍的な加入実現のため道庁及び在札系統団体の漁連・信漁連・基金協会道支所・共水連道事務所・共済組合で構成する「ぎよさい・積立ふらす」北海道推進協議会の第一回会議が六月七日、札幌市第二水産ビル五階の共水連会議室で開催されました。杉西紀元道水産林務部水産経営課長を新座長に選出し、平成二十九年度の重点推進項目の運動結果、地区別漁種別の「マーケットとぎよさい・積立ふらすの利用率」等を報告し、協議を行いました。三十年度は過去の運動結果を踏まえ、補償額でぎよさい（漁獲十特定養殖）一千八百八十一億円、積立ふらす百九十八億円、ぎよさい（定置漁具）一百四億円を目標に推進活動を実施する方針を確認しました。

議事では、平成二十九年度の運動成果等を説明し、漁業収入安定対策事業（ぎよさい掛金追加補助十新積立ふらす）を活用し加入推進を行った結果、新規加入が実現するなど、ぎよさい（漁獲十特定養殖）や積立ふらすの実績は伸長し、平成二十九年度末のマーケットに対する利用率は、夫々八十一%、七十四%となりましたが、一方で、利用率の低い漁種がい

まだ存在し、漁協間の利用率の差も解消されておらず、又、定置漁具も掛金割引制度を活用した新規加入推進を行っているものの利用率が低いままであることから、二十トン未満漁船漁業の加入拡大、ほたて貝養殖業の積立ふらすを含めた利用率の向上、定置漁具の利用率の向上が求められていることが報告されました。



### 三十年度の推進方策

「ぎよさい普及推進全国運動」～「ぎよさい」で安心「ふらす」で万全～の取組みに連動し、「ぎよさい・積立ふらす」北海道推進協議会と連携を図りながら、未利用地域の主要漁業・養殖業への計画的な推進活動を行うこと、さけ定置漁具

の加入拡大を図り、この事業の一層の浸透・定着を目指すこととしました。  
 本年度の事業計画における重点推進項目は、①二〇トン未満漁船漁業等の加入拡大、②未利用地域における主要漁業・養殖業の加入推進、③ぎよさいと積立ふらすのセツト加入推進、④漁業施設共済（さけ定置漁具）の加入拡大の四点であり、制度・事業に対する理解を深めるため、研修会、説明会を開催することや、道、系統団体を含め課題の共有を図ること、資源管理等の機会をとらえた指導、推進をしていくことを確認しました。

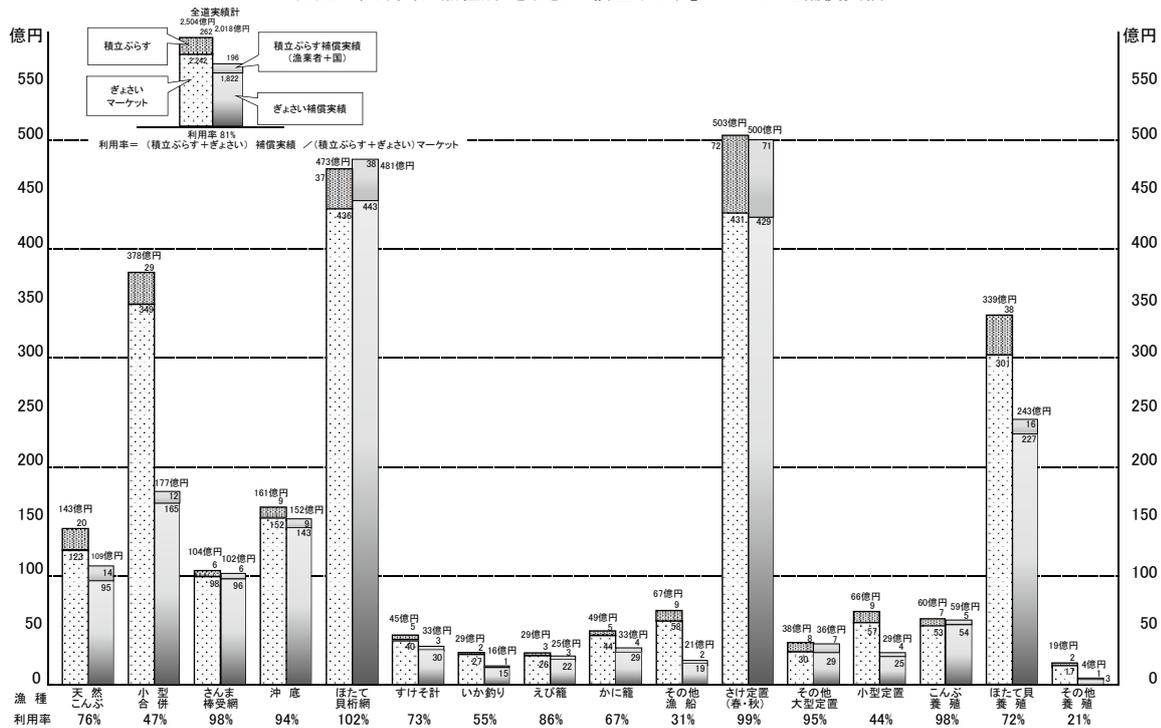


平成30年度第1回「ぎょさい・積立ふらす」

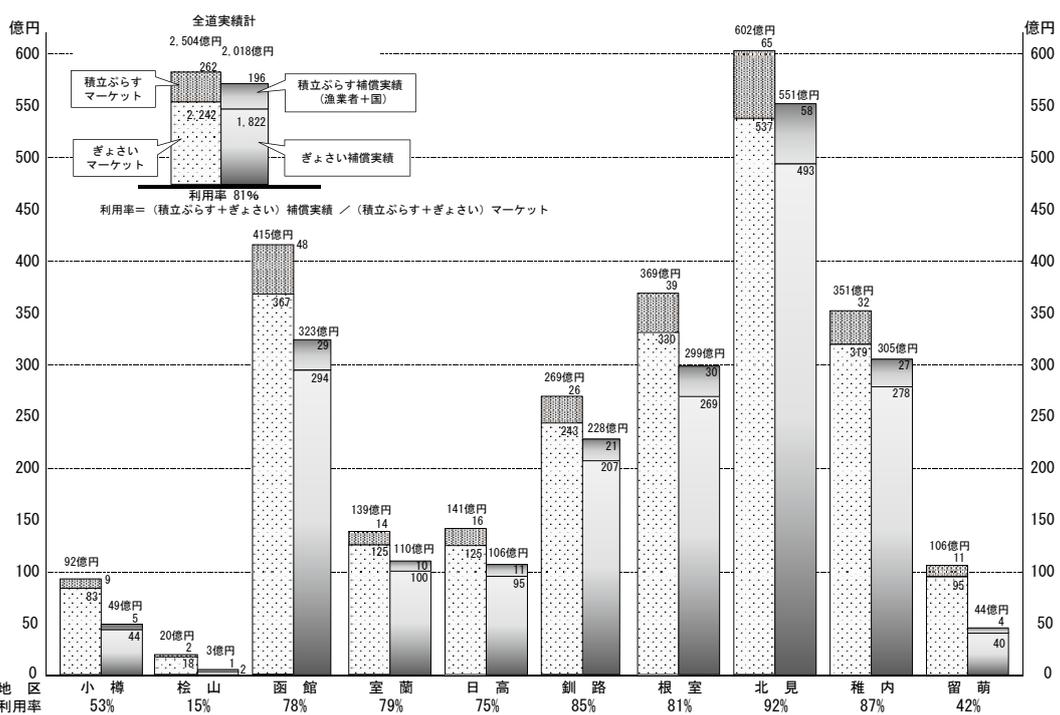
**29年度実績はぎょさい1,822**

**30年度はぎょさい1,881億円、**

平成30年3月末 魚種別「ぎょさい・積立ふらす」マーケットと補償実績



平成30年3月末 地区別「ぎょさい・積立ふらす」マーケットと補償実績



平成三十年度  
漁業共済優績表彰

「平成三十年 度 漁業共済優績表彰」が決定しました。

漁業共済優績表彰は、永年にわたり共済事故なく高度利用いただいている個人（契約漁業者）の中から、特に功績のあった方々を表彰するもので、今年度は全国から「水産庁長官賞」で二十四名、「漁済連会長賞」で、九十八名が受賞されました。

北海道からは、水産庁長官賞一名、漁済連会長賞に六名の方々が受賞されております。

受賞された皆様に、心よりお祝いを申し上げますと共に、今後の大漁と益々のご活躍をお祈り致します。

<優績表彰者>

◎水産庁長官賞

齊藤 尚弥  
(北るもい 小型合併漁業)

◎漁済連会長賞

南出 良浩  
(利 尻 小型合併漁業)

高松 亮輔  
(北るもい 小型合併漁業)

田村 勝弘 外10名  
(枝 幸 さけ大型定置漁業)

大槌 雅秋  
(南かやべ こんぶ養殖業)

小坂 昇  
(南かやべ こんぶ養殖業)

鎌田 英一  
(南かやべ こんぶ養殖業)

順不同 敬称省略



高松 亮輔 様



南出 良浩 様



齊藤 尚弥 様



鎌田 英一 様



小坂 昇 様



大槌 雅秋 様



田村 勝弘 様

七月十二日 帝国ホテル（東京）にて、平成三十年 度漁業共済優績表彰式が開催されました。表彰式では、水産庁長官賞受賞者、水産庁長官賞を受賞された方々へ、賞状が授与されました。

写真は、水産庁長官賞を受賞された、北るもい漁協の齊藤尚弥様（蝦名専務が代理出席（左））と、長谷長官（右）。

